

授業科目	外交史演習
演習題目	冷戦史と日本
担当教員	中島琢磨
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外交の歴史を当時の国内政治や国際情勢の動きを踏まえながら考察し、当時の日本社会に対する理解と関心とを深めること ・ 文献の読解、発表、およびグループディスカッションを通して、リサーチに関するスキルを習得すること
履修条件	外交史の分野に関心のある方
教科書・参考書	<p>モーリス・ヴァイス（細谷雄一・宮下雄一郎監訳）『戦後国際関係史—二極化世界から混迷の時代へ』（慶應義塾大学出版会、2018年）</p> <p>森聡・福田円編著『入門講義 戦後国際政治史』（慶應義塾大学出版会、2022年）</p>
授業の計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、本年度は冷戦史に関する文献を取り上げて、とくにソ連（現ロシア）の対外政策の背景に着目しながら、検討する予定です。 2、報告はレジュメまたはPPT資料を作成して行い、報告後にディスカッションを行います。そのうえで、報告内容をもとに、年度末までにリサーチ・ペーパーをまとめる予定です。 3、年に1回ほど、法学府国際プログラム政治行政コースとの交流学習会（日本語のみも可）を行う回を入れる可能性があります。
成績評価の方法	出席と授業への参加状況から、総合的に評価します。